

令和5年度 第2回八雲町子ども・子育て会議 会議録（要旨）

- 開催日時 令和5年11月20日（月）18：30～19：00
- 開催場所 八雲町役場 議員控室
- 出席委員 中田 拓希、斎藤 やす子、尾関 光広、佐々木 達司、
松本 貴子、羽二生 紀行、林 静香、鈴木 亮平、西田 浩人、
小林 元彦、佐藤 玲子
- 欠席委員 神原 拓哉、仁木 実歩、反町 潤平、植杉 僚、伊藤 整志、
泉 祐子、岩村 治子、川岸 直樹、小栗 由美子
- 事務局 住民生活課長、住民サービス課長、落部支所長、保健福祉課主幹、
住民生活課長補佐、子ども発達支援係長、児童係長
- 傍聴者 0名

1. 開会

委員総数20名中11名出席のため会議成立を報告。（傍聴者0名。）

2. 議題

【事務局より説明】

（1）子ども・子育て支援ニーズ調査について

①調査の実施方法について（資料1・2）

- ・対象者は、未就学児童及び小学校1～6年生の子を持つ保護者。
※前回と同様全量調査のため1人の児童につき1回の回答をお願いする。
※今回は、インターネットでの回答とするため3名までの児童の回答が1回で可能。ただし、きょうだいが就学前児童と小学生の場合は、それぞれ回答が必要。
- ・対象者数は、全体で1,039人（10月1日現在）
※基準日を11月1日にするため、若干の増加を見込んでいる。
- ・調査票の配付は、通園児及び小学生においては、園及び学校を通じて、未通園児においては、郵送にて配付。回収は不要である。
- ・回答方法は、インターネットでの回答。
- ・調査期間は、12月11日（月）から12月22日（金）までとする。

【委員】 質疑等特になし。

【事務局より説明】

②調査票内容の検討について（調査票（案））

- ・調査票の回答方法を説明し、就学前児童対象及び小学生対象調査票案について、各設問等の内容を説明。

【委員】

最初の案内のページで空欄になっているところがあるが、時間は何分くらいかかるか。

【事務局】

就学前児童対象であれば、質問数が多いため、15分以上はかかると思われる。

【委員】

問4にてお子さんの生年月日を問う設問があるが、きょうだいがいる場合は、上のお子さんを回答することとなるのか。入力欄が3名分までであるということか。

【事務局】

回答番号を入力いただいたお子さん分を入力することとなり、その欄を設けている。

【委員】

一番最初に7桁の番号、例えば3人小学校にいる場合は、3人分番号があり、この7桁の番号を入力する質問も3つ入力するところがあるのか。また、3つ入力すればお子さんの生年月日も3つ出てくるということでよいか。

インターネットで回答するということは、自宅にWi-Fiがあるかどうかによって回答時間が変わってくるということなのか。

【事務局】

入力方法はそのとおりである。回答時間については、変わってくる可能性はある。

【事務局より説明】

(2) 今後のスケジュールについて（資料3）

- ・本会議開催から調査票回収までを説明。また、次回会議を令和6年2月下旬に開催し、調査結果の報告をさせていただく旨を説明。

【委員】 質疑等特になし。

3. その他

【事務局より説明】

あかしや保育園の利用定員変更について（資料4）

- ・昨年度法人より相談があり、今年度の出生数や入所状況を勘案し変更を承諾とした。落部の0歳児の人口推計は、令和5年4月1日現在8名。令和5年10月1日現在は7名となっている。また、令和3年度に年長児が卒園し、12名の減。今年度も年長児の卒園により10名の減となる。このようなことから、0歳児～1歳児の入所を2名ずつ見込んでも、需要を満たすことができると判断し、令和6年度から利用定員を30名に変更することを町として承諾し、北海道へ協議を図ることとしたので報告する。

【委員からの質疑】

特になし

4. 閉会